

平成22年度 横浜横浜市立市立荇子田小学校 中期学校経営方針

中期計画期間		平成22年4月～平成25年3月
学校教育目標		<b>知</b> ○いろいろなことに興味を持ち、粘り強くやり遂げる子を育てます。 <b>徳</b> ○礼儀や規律を大切にし、他者を尊重して行動する子を育てます。 <b>体</b> ○自分や他者の生命を大切にし、自らの健やかな体をつくる子を育てます。 <b>公</b> ○まちを愛し、社会の一員として積極的に役立とうとする子を育てます。 <b>開</b> ○日本の伝統や文化を尊重しながら、広く世界を見つめ貢献しようとする子を育てます。
中期目標		○児童一人ひとりの成長課題の実現と基礎・基本の確実な定着を図るため、各教科等の学習指導の充実に努めます。 ○子ども自らが課題を持ち、判断し、よりよく問題を解決していく能力の育成に努めます。 ○「児童支援体制強化校」の指定を受け、より充実した支援が行えるよう体制を整備してきめ細かな児童支援体制を推進します。 ○様々な教育ボランティアの方々とは協働した教育活動を推進し、開かれた学校運営を進めます。
目標設定の理由		○教職員一人ひとりが、自分の役割を確認し、またお互いがコミュニケーションを取りながら、チーム荇子田となって物事に当たっていく。また子ども同士、子どもと教職員・保護者等の豊かな関わりをとおして心の成長、心の育成を促し、学力向上の基盤とします。
共通取組内容		取組目標
児童生徒育成	<b>人間形成</b> <b>知・徳・体・公・開で示す子どもの実現</b> <b>学力形成</b> <b>学力向上アクションプランの推進</b>	○道徳の時間等の充実に努め、物事の善悪をきちんと判断し、人権を尊重する心及び地域行事への参加などをとおして、相手を思いやる心や社会に役立つ行動をする姿勢を育成します。 ○授業力を高めるために、専門家による教職員研修を実施したり、ベテラン教員からの指導・助言を受けられるシステムを作ります。 ○積極的な研修への参加、研究授業を行うことで授業改善に努めます。 ○少人数担当、教育ボランティアの活用を進め、一人ひとりの児童の実態にあった分かる授業を実施します。 ○朝読書の充実に努めます。
小中一貫教育推進ブロック内での取組		○月1回を8校ブロックでの打ち合わせや研修の時間とし、お互いの授業を見合うなどして質の高い小中一貫のカリキュラムを編成します。
校内人材育成の取組		○教員が相互に啓発し合い、互いに学びあえるような職場の環境整備に努めます。また経験に応じてそれぞれの課題を明確に意識した実践を進め、日々の取り組みをとおして課題克服に努めます。 ○専門家から直接指導を受ける機会を豊富に設けることで、実践と理論とが有機的な関係を持ちながら獲得できる環境整備を図ります。
重点取組分野		取組目標
1	教育課程 ・ 学習指導	○小中一貫カリキュラムを基に、補充・基礎・発展を取り入れた授業の実践を適切に行い、積極的に授業公開を行います。 ○学習の習慣化に向けて、朝学習・家庭学習の定着を図り、児童が自主的に学習に取り組めるように指導します。
2	児童・生徒指導	○職員から率先してあいさつを行い、児童が自分からあいさつできるように指導します。 ○教職員は児童や保護者と相談しやすい環境を作ります。
3	安全管理	○避難訓練・不審者対応訓練及び職員研修をとおして、事件・事故や災害発生時に教職員と児童がともに適切な対応がとできるようにします。

## 中期学校経営方針における10の取組分野

	取組分野	取組目標
1	教育課程・学習指導	※重点分野で設定のため記載なし
2	進路指導	○奉仕的な学習、生産的な学習、地域に住む方々とのふれあいや出会いなど体験的な活動の場を多く設定し、それらをとおして将来に夢や希望が描けるようにします。
3	児童・生徒指導	※重点分野で設定のため記載なし
4	健康管理	○健康診断の結果や体力テストの実態を踏まえ、子どもたちの健康体力の保持増進を図っていきます。 ○学校保健委員会で話し合ったことなど学校便りや保健便りなどで保護者や地域の方々にも伝えます。
5	安全管理	※重点分野で設定のため記載なし
6	特別支援教育	○支援が必要と思われる子どもについて、個別の指導計画や個別教育計画をもとに児童指導委員会や支援会議で検討したり、関係機関と連携をとったりして指導していきます。 ○個別支援学級と普通学級の子どもの交流計画をもとに積極的に交流を図っていきます。
7	組織運営	○主幹教諭を中心に組織的（教務会、職員会議、学年研等）に運営され情報を共有し、公務を円滑に遂行します。 ○校務分掌の意義、職務内容や責任について全教職員が理解し、連携して取り組んでいきます。
8	教職員の研究・研修	○全教職員が各教科研究会に所属し、実践をとおして研究研修を深めます。 ○総合（横浜の時間）学習・生活科学習を中心にコミュニケーションの力をつける、授業研究に取り組んでいきます。
9	保護者・地域住民との連携	○学校説明会、学級懇談会・「まち」とともに歩む学校づくり懇話会をとおして、教育方針や活動の意義について、理解協力を求めます。 ○学習や活動の様子など、毎月学校便りやホームページなどで情報を発信します。
10	教育環境整備	○校舎内外の施設、設備の安全維持管理のため定期点検を行うとともに教職員の連携により教育環境整備の改善を図ります。
11	その他	